

大連クラブのロータリー宣言

1. 須^{すべか}らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因^いつて世を益せんがためなり。故に吾人は道義を無視^{いわゆる}して所謂事業の成功を獲んとする者に与せず。
2. 成否を日^にに先立ち退いて義務を尽くさんことを思い進んで奉仕を完^をうせんことを^{ねが}念^う。自らを利するに先立ちて他を益せんことを願^う。最も能く奉仕する者最も多く満たさるべきことを吾人は疑^わず。
3. 或いは特殊な関係を以て機会^{ろうだん}を壟断し、或いは世人の潔しとせざるに乗じて巨利を博す。これ吾人の最も忌む所なり。吾人の精神に反してその信条^{みだ}を紊^るは利のために義を失うより甚だしきは無し。
4. 義を以て集まり、信を以て結び、切磋し、琢磨し、相扶け相益す。これ吾人団結の本旨なり。然れども党を以て厚くすることなく、他を以て拒むことなく、私を以て党する者にあらざるなり。
5. 徒^{いた}爾^{ずら}なる角逐^{かくちく}と鬭争とは世に行われるべからず。協力以って博愛平等の理想を実現せざるべからず、然り我が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す、吾がロータリーの崇高なる使命茲に在り。その存在の意義又茲に在す。(1936)